



公益財団法人SAJ

# SAJ Farm 通信

vol.45  
2014年 4月号

公益財団法人  
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

## 2014年度の栽培予定

4月になり雨が一週間に一回の間隔で降るようになってきました。乾季もうすぐ終わりに近づいているのが実感できるこの頃です。カンボジアでは、乾季の時期の雨のことをマンゴーシャワーと呼んだりするそうで、今年はそのマンゴーシャワーがよく降ったため、マンゴーが豊作です。4月はカンボジアのお正月のため、皆さんその前に少しでもお金に換えようとマンゴーを出荷したのか、市場はマンゴーにあふれその甘い香りに包まれています。マンゴー好きの方は是非この時期にカンボジアを訪れてみてはいかがでしょうか。

今月は2014年度の始めということで、今年度取り組む作物について説明します。

### 1. 水稻

今年度も昨年度に引き続き稲を1年に2回収穫する2期作を行います。昨年度はこれまで取り組んできた土づくりの結果、年間でカンボジアの平均200kgの収穫量に対して400kg収穫できる水田も有りました。一方まだ土が出来ていない水田は100kgにも満たないのが現状です。

2期作で使う稲は4カ月という短い時間で大きくなるために多くの栄養を必要とします。そこで今年は土がまだできていないと思われる水田ではカンボジアで一般的に作られている7カ月かけてゆっくり大きくなる品種を植えようと計画しています。こちらの方が少ない肥料でも育つ可能性が高いためです。また、昨年は少し時期をずらして田植えを行ったためスズメが順番に水田を移動してしまい、全体的に被害を受けたので、今回はなるべくまとめて田植えを行います。今年の目標は2期作が10a当たり1回目250kg、2回目200kgの計450kg。7カ月米が10a当たり200kgです。

### 2. レモングラス

日本向けのレモングラスティーの原料として継続して生産中ですが、新たな用途も模索中です。計画としては乾燥した状態で年間4tの生産を目標にしています。しかし昨年度の実績として月100kgから200kgの生産量で留まっているため、肥料を追肥し、除草を行うなどの管理作業に重点を置き生産量を伸ばします。



去年の収穫前の稲。今年も頑張ります。



レモングラスの株間の除草。

### 3.その他の作物

#### ①里芋、生姜

SAJ Farm の畑は最初は水田として使う予定だったため、道路より低く掘り下げてあります。しかし水田に使うには水がたまず、レモングラスを植えるには水が多い場所がいくつかあります。そのため、水分が多い所を好む里芋と生姜を試験的に作付します。これらの二つは、kgあたりでお米よりも高いため、成功すれば周辺農家さんにも講習会を通して普及できればと思います。

#### ②ナス、オクラ

SAJ Farm のあるコンポンチュナン州は日本語に直すと鍋の港という意味です。陶器やレンガの産地であり、土や水にカルシウムが多く含まれます。ナスはカルシウムが多い所でよく育つため栽培に取り組みます。オクラは地方ではまだマイナーな作物ですが、プノンペンではよく知られていて、欧米の方が購入している所を見かけます。いろいろ試した結果、カンボジアにはオクラが一番向いていると別の農場の方が栽培しているため、私たちも栽培してみます。

#### ③大根、人参

最近カンボジア国内にも日本食のレストランが増えています。そのため需要が見込まれる大根、人参の栽培を行います。先日聞いた話では、カンボジアで一般的に売られている大根は日本の大根の半分ぐらいの大きさしかありません。そのため刺身のツマにするのが難しいそうです。日本でも涼しい時期に栽培しますし、夏に植えると暑さのせいでストレスがかかり非常に辛くなってしまいます。そこで光を遮るネットを上張り、温度を下げて栽培します。人参は水が少ないとうまく芽が出てくれません。雨季に入る6月ごろから種をまき始める予定です。大根同様あまり暑いのを好まないため光を遮るネットもかけます。



乾季に試験した里芋。水が足りずに失敗したので雨季に再チャレンジします。



畑で採れたナス。

### 編集後記

昨年度もいろいろな作物に挑戦してみましたがなかなかこれというものが見つかりません。今年度こそはレモングラス以外でも農場に向けた作物を見つけ、次につなげていきたいと思っています。

上井